壁式構造自動作図システム

PLUS CAD

解説書

株式会社 東京デンコー

PLUS CAD

自動作図編

本書は、壁式構造自動作図システム「PLUS CAD」の自動作図機能を中心に、関連した機能も含めて説明したものです。

[構成]

1	概要		• • •	1
	1.1	自動作図コマンドの起動	•••	2
	1.2	自動作図コマンドの流れ	•••	3
	1.3	図面の表示	•••	6
	1.4	図面の出力	•••	13
	1.5	図面の変換	•••	16
2	解説		•••	18
	2.1	物件指定画面	•••	18
	2.2	作図実行画面	•••	19
	2.3	条件設定画面	•••	22
	2.4	図面指定画面	•••	29
	2.5	図形属性画面	•••	32
3	その他	b	•••	35
	3.1	コマンドの起動方法について	•••	35
	3.2	色設定	•••	36
	3.3	点種設定	•••	37
	3.4	字種設定	•••	39
	3.5	削除	•••	4 1
	3.6	移動	•••	42
	3.7	図面合成	•••	43
	3.8	ファイル保存	•••	44
	3.9	ファイルオープン	• • •	45

本書を利用するにあたり、「1.1」「1.2」で自動作図処理を行うための自動作図コマンド について基本的なことを述べ、「2」で詳細な説明をしています。 また図面の表示、出力、変換については、「1.3」「1.4」「1.5」を参照して下さい。 自動作図処理に関連した機能及び基本的な編集機能については「3」を参照して下さい。

[参考]

本書で使用している操作に関する記述は、特記なき限り次の通りです。

クリック	:	マウス左ボタンを1度押します。
ダブルクリック	:	マウス左ボタンを2度続けて押します。
ドラッグ	:	マウス左ボタンを押したまま移動し離します。
[リターン]	:	キーボードの [リタシ] キーを押下します。
[BS]	:	キーボードの [BS]キーを押下します。
[ESC]	:	キーボードの [ESC]キーを押下します。

* キーボードの [Uタン]、 [BS]、 [ESC]キーを押下する操作は、図面ウィンドゥ内でマウス右ボタ ンをクリックした時に表示されるメニューより実行 (RET)、戻る (BS)、取消 (ESC)を指示して も同様です。



[制限事項]

自動作図コマンド - 軸組図で作図方法 - 展開については現在開発中です。 自動作図コマンド - 架構詳細図の作図処理は現在開発中です。 [インストール方法]

「PLUS CAD」プログラムのインストール方法について説明します。



コピーが終了すると、インストールは終了です。

[起動方法]

「PLUS CAD」プログラムの起動方法は、「スタート」メニューよりプログラム - TO KYO DENCO - PLUS CADを選択し起動して下さい。 概要

壁式構造自動作図システム「PLUS CAD」の自動作図機能は、壁式鉄筋コンクリート造 一貫処理システム「壁麻呂」で入力したデータをもとに、リスト、伏図、軸図、平面詳細、架構詳 細の各種図面を自動作成するためのものです。

1/30







地中梁リスト



(b)地中梁リスト

(c)壁リスト







(e)軸図



(g)架構詳細

図1.1 「PLUS CAD」自動作図機能による図面

1.1 自動作図コマンドの起動

自動作図処理は、自動作図コマンドを起動し、実行します。

PLUS CAD ファイル 設定 作図	編集 分化物 Debug
	L●▣♡♫ጡ·▣◢■♥田匑蛪詺▦習屬♥♥₽₩閶團♥↘◈띄包▷■디₽▦ッश詺।।
自動 💌 Sample	▼ A4 ▼ 棟 ▼ 30 ▼ 30 ▼ 👜 1 🔹 色 🚥 ▼ 😤 10・08・00 ▼ 印 点 ○ 0.5 🚥
線 ▼ 単約	線 ▼ [
■	● NEW WINDOW-I A4 模 1/30 ● MEW WINDOW-I A4 MEW WINDOW-I
國変変	

図1.2 自動作図コマンドを起動した画面(物件指定画面)

自動作図コマンドを起動するには2通りの方法があります。

自動作図コマンドをクリックする。[図1.3 参照]

ファイルメニューをクリックし、自動作図をクリックする。[図1.4 参照]

	ŧ	PLUS CAD	
	_	7ァイル 設定 作図	編集 ウイントウ Debug
		/1	●回ら↓┏↓■●田宮窑窑
		自動 💌 Sample	▼ A4 ▼ 横 ▼ 30 ▼ 30
		線 ▼ 単線	
(╋ NEW WINDOW-1 A4 横 1/30
		ファイル名	



図1.4 ファイルメニュー

1.2 自動作図コマンドの流れ

自動作図コマンドを起動すると、まず最初に物件指定画面が表示されます。 以下自動作図コマンドの処理の流れについて説明します。 尚各画面の詳細については、[2 解説]を参照して下さい。

物件指定画面が表示されます。[図1.5 参照]

図面を作成する「PLUS CAD」の物件を指定します。

1)「PLUS CAD」の物件を指定します。

新規に実行する場合は、空いている「PLUS CAD」の物件を指定し 「壁麻呂」の物件を指定します。 既存の物件を実行する場合は、その「PLUS CAD」の物件を指定し ます。

2)確定ボタン(確定)を指示します。

作図実行画面が表示されます。[図1.6 参照]

作図する図面(リスト/床伏/軸組/平面詳細/架構詳細)及び各図面の方向、 サイズ、スケール、作図原点位置の指定をします。

- 1)作図する図面を指示します。(V リスト)
- 2)図面の方向(横/縦)を選択します。
- 3)図面のサイズ(A0/A1~)を選択します。
- 4)図面のスケール(分母)を入力します。
- 5)作図原点の位置(X/Y)を入力します。

各図面の作図条件を設定するには、条件設定ボタン(<u>条件設定</u>)を指示します。

条件設定画面が表示されるので、図面毎に設定して下さい。[図1.7 参照]

- 1)設定する作図図面を指示します。(リスト 床伏 軸組 平面詳細)
- 2)必要なデータを設定します。
- 3)全ての図面に対し設定が終了したら、OKボタン(_____)を指示し、 作図実行画面に戻ります。

各図面の作図図面を詳細に設定するには、図面指定ボタン(<u>図面指定</u>)を指示します。

図面指定画面が表示されるので、図面毎に設定して下さい。[図1.8 参照]

- 1)設定する作図図面を指示します。
 - (リスト|床伏 |軸組 |平面詳細|架構詳細))
- 2)作凶9る凶囬を指正しよ9。
- 3)全ての図面に対し設定が終了したら、OKボタン(_____)を指示し、 作図実行画面に戻ります。

作図する図形の色等の属性を設定するには、図形属性ボタン(<u>図形属性</u>)を指示します。

図形属性画面が表示されるので、色、線種、字種を設定して下さい。 [図1.9 参照]

- 2)図形毎に各種属性を指定します。
- 3)全ての設定が終了したら、OKボタン(_____)を指示し作図実行画面 に戻ります。

以上の設定が終了したら、作図実行画面で作図実行ボタン(<u>作図実行</u>)を指示し 作図処理を実行します。



図1.5 物件指定画面

自	動作図	(実行)						×
	- 設定	1						
	f	乍図指定	図面方向	図面サイズ	図面スケール	作図原点×	作図原点Y	
		リスト	横 💌	A2 💌	30	100 mm	100 mm	
	☑	床伏	横 縦	A2 🔺	100	100 mm	100 mm	
		軸 組	横 ▼	B0 🗾	100	100 mm	100 mm	
		平面詳細	横 ▼	A2 🔻	50	100 mm	100 mm	
		架構配筋	横 ▼	A2 💌	50	100 mm	100 mm	
	- 設定	2		1				
		条件設定	図面指定			作図実行	CANCEL	

図1.6 作図実行画面

条件設定		? 🗙
リスト 床伏 軸組 平面	記筆希田	
リスト×寸法 項目(梁): 20 項目(壁): 40 梁単断面: 40	· 梁腹筋指定 腹筋径: 10 腹筋ビッチ: 400 梁あばら筋かぶり厚 大梁: 30 地中梁: 40	地業の厚さ 拾ひ: 50 割栗: 100 地業作図方法 拾ひ: C 枠のみ ○ 三重線 ○ 三重線
梁祺断面: 30 壁断面: 50 リストY寸法	壁横筋かぶり厚: 30	割栗: C 枠のみ C 割果石 © 砂利 ② (作図断面数 (一図面当り) 断面数: 12 階数: 4
符号: 10 項目: 5 大梁断面: 50 地中梁断面: 100	地業の出長さ: 100 作図指定 ▼ 梁リスト :腹筋枠	鉄筋記号 D10 ● ▼ D22 Ø ▼ D35 Ø ▼ D13 ● ▼ D25 Ø ▼ D38 ◎ ▼
壁断面: 80 断面離れ: 10	 ✓ 地中梁リスト:地業 ✓ 壁リスト :開口部補強筋斜枠 	
		ОК ++>tell

図1.7 条件設定画面

図面指定	? ×
リスト 床伏 軸組 平面詳	細】架構詳細】
▶ 地中梁リスト	
☑ 壁リスト	
	OK キャンセル

図1.8 図面指定画面

図形属性設定 (≧ 重│字種│				<u>?</u> ×
リスト枠 通り線 寸法 壁		大梁 地中梁 小梁 床	縦筋 横筋 上下端筋 あばら筋	幅止筋 縦筋(M) 横筋(M) 上下端筋(M)	
開口		捨고),割栗	 腹筋	 腹筋(M) ※ (M) マ−ク	
				ОК	キャンセル

図1.9 図形属性画面

1.3 図面の表示

自動作図コマンドの作図処理が 終了すると、画面に処理した物件 の名称及び図面の名称が表示され ます。

以下図面の表示方法について説 明します。



図1.10 自動作図処理を行った物件と図面

今ある図面ウィンドゥに図面を表示するには、[図1.11 参照]

1)表示する図面ウィンドゥを指示(クリック)します。

2) 図面をダブルクリックするとその図面が表示されます。

新たな図面ウィンドゥに図面を表示するには、[図1.12 参照]

- 1)新規ウィンドゥコマンドを指示すると、新しい図面ウィンドゥが表示され ます。
- 2)図面をダブルクリックするとその図面が表示されます。

図面ウィンドゥを移動するには、[図1.13 参照]

1)移動する図面ウィンドゥ上側のタイトル部分をドラッグすると移動します。

重なって見えない図面ウィンドゥを表示するには、[図1.14 参照]

図面ウィンドゥのサイズを変更するには、[図1.15参照]

1)図面ウィンドゥの外側4辺(左右方向、上下方向に矢印が表示)をドラッ グするか、右下角をドラッグすると図面ウィンドゥサイズが変更します。

図面を拡大、縮小、スクロール等するには、いろいろな方法があり以下のものが あります。

- 1)表示コントロールを使う。[図1.16参照]
 ・全体表示をクリックすると図面全体を表示します。
 - ・再表示をクリックすると図面を表示し直します。
 - ・拡大表示をクリックすると相対拡大表示し ます。
 - ・縮小表示をクリックすると相対縮小表示し ます。
 - ・範囲拡大表示をクリックし表示範囲をドラ ッグするとその部分を拡大表示します。
 - ・移動表示をクリックし表示中心位置をクリックすると移動表示します。この処理は、
 続けて行うことができます。マウスを図面ウィンドゥ外に移すと解除されます。
- **1**)小ール1

 全 再 2 2 4

 左 から 順に

 ・全体表示

 ・再表示

 ・拡大表示

 ・縮小表示

 ・範囲拡大表示

 ・移動表示
- 図1.16 表示コント ロール
- 2)マウスコマンドメニューを使う。[図1.17参照] 図面ウィンドゥ内でマウス右ボタンをクリックするとコマンドメニュー が表示され、全体表示/再表示/範囲拡大/移動を行うことができます。 機能は表示コントロールと同様です。
- 3)スクロールバーを使う。[図1.18 参照]
 - 図面ウィンドゥの下側、右側にあるスクロールバーを使って移動 / スク ロールを行うことができます。
 - ・下側両端の↓ をクリックすると左右に移動し、間の をドラッグすると左右にスワロールします。
 - ・右側両端の▲▲をクリックすると上下に移動し、間の
 をドラッグすると上下にスクロールします。

- 4)キーボードを使う。
 - キーボードを使って移動 / 拡大 / 縮小を行うことができます。
 - ・ [↑] [↓] [→] [←] キーを押下すると移動します。
 - ・ [ROLL UP] または [Page Up] キーを押下すると拡大します。
 - ・ [ROLL DOWN] または [Page Down] キーを押下すると縮小します。

図面ウィンドゥを並べて表示するには、[図1.19 参照]

1)ウィンドゥメニューをクリックし、並べて表示をクリックします。

図面ウィンドゥを最小化する、最大化する、閉じるには、

- 1)図面ウィンドゥ右上角の 最小化された図面ウィブドゥの [図1.20参照]
- 2)図面ウィンドゥ右上角の 最大化された図面ウィブドゥの [図1.21 参照]
- 3)図面ウィンドゥ右上角のXをクリックすると閉じらさります。 一度閉じた図面ウィン下ゥは元に戻りません。



図1.11 指示した図面ウィンドゥに図面を表示



図1.12 新たな図面ウィンドゥに図面を表示



図1.13 図面ウィンドゥを移動



図1.14 見たい図面ウィンドゥを表示



図1.15 図面ウィンドゥのサイズを変更



図1.17 マウスコマンドメニュー



図1.18 スクロールバー



図1.19 図面ウィンドゥを並べて表示



図1.20 最小化した図面ウィンドゥ



図1.21 最大化した図面ウィンドゥ

1.4 図面の出力

図面のプリンタ、プロッタへの出力方法について説明します。 図面を出力するには、図面出力コマンドを起動し、実行します。

図面出力コマンドを起動するには、図面出力コマンドをクリックするか、ファイ ルメニューをクリックし印刷をクリックします。[図1.22 参照]

図面出力画面が表示されます。[図1.23 参照] 出力する図面をクリックし、印刷ボタン(印刷)をクリックします。 複数の図面を指示する場合は、それら図面を囲むよつにドラッグします。

プリンタの設定画面が表示されます。[図1.24 参照] プリンタの名前のところをクリックすると、設定されているプリンタが表示さ れるので、出力するプリンタやプロッタをクリックして選択します。

プロパティボタン(<u>プロバティႲ)</u>)をクリックし、出力する装置に応じた設定を 行って下さい。[図1.24 <u>家</u>照]

プロパティ設定画面は、装置(ドライバ)によって異なりますが、基本的には 用紙のサイズ、向き、給紙方法等を設定します。ただドライバによってその他に も設定する内容はあるので、各々ドライバの説明書を参照して下さい。 [図1.25 参照]

	🌐 PLUS CAD			
	ファイル 設定 作		編集 ウイントウ Debug	
	自動作図 ファイルオーフシ	Ļ	▋●回ऽद॒ॡॎॴॼ◢ॿऻॖॖॾऻय़य़य़य़ॾऻॿऻॿॿऻॾऻॖॖॖॳक़ऻॗऻॻॿॿऻॿ	\
	ファイル保存 新規	le	▼ 44 ▼ 横 ▼ 30 ▼ 30 ▼ 🔤 1 ▼ 色 📼 ▼ 😤 1.0	• 0.8•
	一時出力 図面管理	単線	및	
4	物件管理		♣ NEW WINDOW- 図面出力	? ×
(ED/刷 変換出力	1	ファイルの場所型: 🦳 cz001 🔽 💼 🏢 🏢	
		h	📓 1 F 階床伏図dda 📐 📾 WCAD000.dda 🛛 🗟 X3 通り軸組図dda 📓 X9 通	回車
	終了	Л	■ 1F階平面詳細図dda ■WCAD001.dda ■X4 通り軸組図dda ■Y1 通 DogtWitt(#図い - Dwospace)	火車
			Imager Fack (Algorithms) (Alg	い 町 町
	1F階床伏		■ RF階床伏図dda ■ X1 通り軸組図dda ■ X7 通り軸組図dda ■ Y4 通	回動
	🔄 2F階床伏			자
	B RF階床伏			►
	副 Y1 通9 图 Y2 通4		7ァ(ル名(N): 印刷	
	🖹 Y3 通U		ファイルの種類(T): DDA-FILE ▼ まかったル	
	副 Y4 通U			
		-1		
			<u> </u>	

図1.22 図面出力コマンド起動画面

図面出力				? ×
ファイルの場所():	🔁 cz001	- 6	I 📥 📰	
 ▲ 1F階床伏図dda ▲ 1F階平面詳細図dd ▲ 2F階床伏図dda ▲ 2F階床伏図dda ▲ RF階床伏図dda ▲ RF階床伏図dda 	は MCAD000.dda MCAD001.dda MCAD003.dda MCAD004.dda MCAD004.dda MCAD004.dda	 第X3 通り軸約 第X4 通り軸約 第X5 通り軸約 第X6 通り軸約 第X6 通り軸約 第X7 通り軸約 	祖図dda)) 祖図dda) 祖図dda) 祖図dda) 祖図dda) 祖図dda) 祖図dda) 社	9 通り車 1 通り車 2 通り車 3 通り車 4 通り車
 ■ RF階十回調#細図 7アイル名(N): 	ida 團 %2 通貨軸租区idda 「1F階床伏図dda ^{~~} 1F階平面	■ X8 1曲り単断 詳細図dda ~~2F	溜IIIIIdda IIIII / A	(梁Uスト) 刷
ファイルの種類(1):	DDA-FILE		キャン	/セル

図1.23 図面出力画面

ブリンタの設定				? ×
C 7 YV9				
名前(<u>N</u>):	Canon LBP-730 LIPS4	1	र् 🔜	プロノペティ(<u>₽</u>)
状態: 2 種類: (場所: 4 コパント:	Canon LBP-730 LIPS4 Canon LBP-B406E2 LIPS3 Graphtec DP1000 MUTOH F-920/620.F-910/610(M-GL)			
		[印刷の向	ŧ
サイズ(乙):	A4]		● 縦(○)
給紙方法(S): 自動 🔽	3	A	€横(鱼)
			ок	キャンセル

図1.24 プリンタの設定画面

Canon L	.BP-B40	6E2 LIPS3	- ¥¥Norik	o¥canon σ	プロ ノパティ		? ×
用紙	/ゲラフィ (テンマンマー	ックス フォン トーニー ヘル・ク	ト デバイ) 210 × 297	ス オプジョン)			1
			210 x 297				
	+ 1	₽ 45	₽ 85	+	+ Letter	+	
•					Letter	Legal	•
Γ ^{ΕΠ}	1刷の向き 	<u></u>					
	A	● 縦(P)		A	€ 横心		
 \$6\$	aī+÷+∽		6 6 4 00 %	¥11			
101				[X ¹]			
	1.(7)7124 <u>0</u>	~ j	E1 2007 10(20)				
	1007774 <u>9</u>	~ I	E 20713/00				
		~ I	E 207 (3620)				
		~ ,		ー ション情報 <u>(</u> ()	3)	標準に見	
		~ J			<u></u>	標準に見	 ₹す(<u>D</u>)
		·		ー ション情幸服() 	3)	標準にす ,	₹す(<u>D</u>) 更新(<u>A</u>)

(a) Canonのプリンタ(LBP - B406E2)

Graphted DP1000 - FILE:のブル	ロハ°ティ	? ×
用紙 オプション		
	給紙方法(S): 用紙サイス(Z): (作図範囲(R): マーシン設定(M): 回転(Q): 「印刷の向き」 【A】 で ?	加小紙 ▼ JIS A4 210 × 297 mm ▼ 287 × 200 mm 標準 ▼ なし ▼ 獄(P) ▲ ● 横(L) 겣 標準に戻す(D)
	ОК	キャンセル 更新(A)

(b)Graptecのプロッタ(DP1000)

図1.25 プロパティ設定画面の例

1.5 図面の変換

図面のDXFへの変換方法について説明します。 図面を変換するには、変換出力コマンドを起動し、実行します。

変換出力コマンドを起動するには、変換出力コマンドをクリックするか、ファイルメニューをクリックし変換出力をクリックします。[図1.26 参照]

変換出力元画面が表示されます。[図1.27 参照] 変換する図面をクリックし、変換先ボタン(<u>変換先</u>)をクリックします。 複数の図面を指示する場合は、それら図面を囲むよつにドラッグします。

変換出力先画面が表示されます。[図1.28 参照] ファイルの場所のところをクリックし、ドライブ(FD等)やフォルダを指定 します。

ファイルの種類のところをクリックし、DXFファイルに変換するのか、MPPファイルに変換するのか指示します。

変換ボタン(変換)をクリックし処理を実行します。

	#PLUS CAD									
	ファイル 設定 作	図編集	ミーウィンドウー ロ	Debug						
	自動作図 ファイルオーフシ ファイル保存	e le	<u></u>		● H 字 横 ▼ 30	<u>字</u> 字:: - 30 - ■	·	▶ お ⊞ ■ マ 色 ■ •	 7 字	1.0 • 0.8
	新規 一時出力 図面管理	単線	•	変換出力元						?×
	初件管理	ן פ	NEW WINDOW	ファイルの場所(!):	🔁 cz001			- 🖻 🖄		
•	ていかり 変換入力 終了			 	Jdda WC. Jdda WC. Jdda WC. Jdda WC. Jdda WC. X1 Jdda X2 DDA-FILE	4.D000.dda A.D001.dda A.D003.dda A.D004.dda 通り車給組図.dda 注動り車給組図.dda	a X3 a X4 a X5 a X6 a X7 a X8	通り軸組図dda 通り軸組図dda 通り軸組図dda 通り軸組図dda 通り軸組図dda 通り軸組図dda	■×9 ■ Y1 ■ Y2 ■ Y3 ■ Y4 ■ 大望 変換5 キャンセ	
	IIIIY4 通J IIIX1 通J IIIX2 通J ▼ IIIIIX2 通J ▼ IIIIIX									

図1.26 変換出力コマンド起動画面

10.10	変換出力	1元							? ×
	ファイルの	の場所(1):	🚖 cz001			•	E	8-8- 8-8- 8-8-	
	名前		サイズ	ファイルの種類.	更新日時				
	≱ X1	通り軸組図	∏уд экв	DDA ファイル	97/10/28	16:49			
	x X2	通り軸組図	9KB	DDA ファイル	97/10/28	16:49			
	* X3	通り軸組図	8KB	DDA ファイル	97/10/28	16:49			
	★×4	通灯軸組図	9КВ	DDA ファイル	97/10/28	16:49			
	3 35	通灯睡組図	, 9KB	DDA ファイル	97/10/28	16:49			
	🛋 X6	通归軸組図	9KB	DDA ファイル	97/10/28	16:49			- 1
		°≅(1±±6∩⊡0		554 7 (V	07 (40 (00	10.10			<u> </u>
	ファイルキ	名(<u>N</u>):	ĨX1 通	J軸組図dda~	˘Ҳ2 通リ轒	翩凰るる	∍‴ ″X3	変換先	
	77110	の種類(工):	DDA-FILI	E				キャンセル	

図1.27 変換出力元画面



図1.28 変換出力先画面

2 | 解説

ここでは、自動作図コマンドについて説明します。 [1 概要][1.2 自動作図コマンドの流れ]と合わせて参照して下さい。

2.1 物件指定画面

自動作図コマンドを起動した時に最初に表示される物件指定画面について説明しま す。

機能

自動作図処理を行う「PLUS CAD」の物件を指定します。

「PLUS CAD」の物件とは、「壁麻呂」の物件に対し図面を作成する物件のことです。自動作図処理を行う「PLUS CAD」の物件は、必ず一つの「壁麻呂」の物件に対応していなければなりません。

複数の「PLUS CAD」の物件に一つの「壁麻呂」の物件を割り当てること はできますが、一つの「PLUS CAD」の物件に複数の「壁麻呂」の物件を割 り当てることはできません。また「壁麻呂」の物件を削除した時に、その物件に 対応した「PLUS CAD」の物件は図面の存在する物件として残りますが、自 動作図処理を行うことはできません。自動作図処理を行うには「壁麻呂」のデー タを復元して下さい。

[PLUS CAD物件] [壁麻呂物件]





- 1) PLUS CAD物件一覧 実行済の物件の名称が表示されます。「PLUS CAD」の物件名称は 自動作図処理を行った時に「壁麻呂」の物件名称が入ります。 「PLUS CAD」の物件は、「壁麻呂」と同様に「壁麻呂」で指定し ているデータディレクトリに作成され、30物件まで作成できます。 画面に表示されない物件は、右側にあるスクロールバーを使って表示し て下さい。
- 2)壁麻呂物件一覧

物件の名称が表示されます。

画面に表示されない物件は、右側にあるスクロールバーを使って表示して下さい。

- 3)確定ボタン
 「PLUS CAD」の物件の確定を指示します。
- 4) CANCELボタン 物件指定画面の処理を中止(終了)します。
- 5)終了ボタン

CANCELボタンと同様で、物件指定画面の処理を中止(終了)しま す。 この終了ボタンは他の画面にも同様に存在し、機能は同じでその画面の 処理を中止/終了します。

操作

1)「PLUS CAD」の物件を指示します。 新規に実行する場合は、空き物件をクリックし「壁麻呂」の物件をクリ ックします。既存の物件を実行する場合は、その物件をクリックします。

2)確定ボタンをクリックします。

2.2 作図実行画面

[2.1 物件指定画面]で確定ボタンを指示すると作図実行画面が表示されます。

機能

この画面では、作図する図面(リスト/床伏/軸組/平面詳細/架構詳細)及 び各図面の方向、サイズ、スケール、作図原点位置の指定を行い、自動作図処理 を実行します。

また条件設定 / 図面指定 / 図形属性の各ボタンを指示することにより各図面の 作図条件 / 各図面の作図図面 / 作図図形の色等の属性を指定することができます。

面						
	1)	2)	3)	4)	5)	
	1	1	1			
自動	作図(実行)					2
	設定 1 ———					
	作図指定	図面方向	図面サイズ	図面スケール	作図原点×	作図原点Y
	▼ リスト	横▼	A2 💌	30	100 mm	100 mm
	☑ 床 伏	1 M	A3	100	100 mm	100 mm
	▶ 軸 組	横 ▼	B0 🗾	100	100 mm	100 mm
	□ 平面詳細	横 ▼	A2 🔻	50	100 mm	100 mm
	□ 架構配筋	横 ▼	A2 🔻	50	100 mm	100 mm
-	設定 2					
	条件設定	図面指定	図形属	性	作図実行	CANCEL
					·	
			,			,
	6)	7)	8)	9) 1	0)

1)作図指定

作図する図面(リスト/床伏/軸組/平面詳細/架構詳細)の指定を行 います。

2) 図面方向

作成する各図面の向きを横置きとするか縦置きとするか指定します。

3) 図面サイズ

作成する各図面のサイズを指定します。

4)図面スケール

作成する各図面のスケール(分母)を指定します。

5)作図原点位置(X/Y) 作成する各図面の作図原点位置の離れを指定します。 作図原点位置及び離れは下記のとおりです。



*離れの数値は図面上の数値(図寸値)であり、実寸値ではありません。

- 6)条件設定ボタン 作成する各図面の作図条件を設定する画面が表示されます。
- 7)図面指定ボタン 作成する各図面の作図図面を設定する画面が表示されます。
- 8) 図形属性ボタン 作図図形の色、線種、字種(文字の大きさ)を設定する画面が表示され ます。
- 9)作図実行ボタン 自動作図処理を実行します。
- 10) CANCELボタン
 作図実行画面の処理を中止(終了)します。

操作

- 1)作図指定を指示します。
 作図する図面のチェックボックス(□)をクリックし、チェック(□)します。
- 2)図面方向を選択します。
 クリックし、横か縦をクリックします。
- 3)図面サイズを選択します。 クリックし、A0/A1~をクリックします。表示されないサイズはス クロールバーを使って表示して下さい。
- 4) 図面スケールを入力します。 スケール分母をキーボードより入力します。
- 5)作図原点X / Yを入力します。 離れのX、Yをキーボードより入力します。
 - * 図面スケール、作図原点X / Yをキーボードより入力する入力フィールド は、 [TAB] キーを使って移動します。 [Return] キーを使うと自動作図 処理を実行します。
- 6)条件設定/図面指定/図形属性の各ボタンは、必要に応じクリックして設 定して下さい。
- 7)上記の作図条件が全て整ったら、作図実行ボタンをクリックします。

自動作図処理

1)部材の識別

大梁 大梁は成・幅と梁配筋とで識別し、名称は階毎にグルーピングした 順番号に "G "を付加したものとします。 地中梁

地中梁は成・幅と梁配筋とで識別し、名称は階毎にグルーピングした順番号に"FG"を付加したものとします。 壁

壁は壁厚と壁せん断筋とで識別し壁主筋を付加します。名称は壁せん断筋リストの名称とします。

2)リスト

大梁、地中梁、壁それぞれの部材を識別したリスト図面を作成します。 梁の断面は、梁配筋により全断面、端部 / 中央、左端 / 中央 / 右端に分 けます。

3)床伏

階毎に壁、梁、小梁、床(名称)、片持梁、片持床の作図を行います。

4) 軸組

通り毎に壁、開口、梁、床、片持梁、片持床の作図を行います。

5) 平面詳細

階毎に壁(柱)、壁せん断筋、壁主筋の作図を行います。

6)架構詳細 軸組の図面に壁せん断筋、壁主筋及び梁配筋の作図を行います。

備考

作図実行画面及び条件設定 / 図面指定 / 図形属性の各画面で設定した内容は、 その物件の設定情報として物件毎に管理します。

2 3 条件設定画面

[2.2 作図実行画面]で条件設定ボタンを指示すると条件設定画面が表示されます。

機能

リスト / 床伏 / 軸組 / 平面詳細 / 架構詳細の各図面の作図条件を設定します。 設定画面は作図図面毎に分かれています。

画面

リスト

	(寸法]	梁腹筋指定	地業の厚さ
項目領	&2: 20 ∄: 40	2. 梁あばら筋かぶり厚	1847・1950 割末・1960 1
梁単断梁補助	面: 40 面: 30	大梁: 30 地中梁: 40	捨心: ○ 枠のみ ● 三重線 ○ 三重線 割栗: ○ 枠のみ ○ 割栗石 ○ 砂利
壁断面	j: 50	壁横筋かぶり厚: 30	梁作図断面数(→図面当り) 断面数: 12 勝数: 4
- UXN 符号:	10	地業の出長さ: 100	鉄筋記号
項目: 大梁助	「西:「 <u>50</u> 」	- 作図指定	
地中梁 壁断電	断面: 100 ā: 80	 ✓ 梁リスト :腹筋枠 ✓ 地中梁リスト:地業 	
断面离	≝れ: 10	☑ 壁リスト :開□部補強筋斜枠	D19 🔾 🗸 D32 🖉 💌 D51 👿 🗸

1)作図図面

リストを指示します。

- 2) リストX寸法 各リストのリスト枠の横方向のサイズを指定します。 [図2.1 参照]
- 3) リストY寸法 各リストのリスト枠の縦方向のサイズを指定します。 [図2.1 参照]
- 4)梁腹筋指定 腹筋の径及び最小ピッチを指定します。(単位nmn)
- 5)梁あばら筋かぶり厚 あばら筋のかぶり厚を大梁、地中梁それぞれ指定して下さい。(単位nm)
- 6)壁横筋かぶり厚 壁の横筋のかぶり厚を指定して下さい。(単位mm)
- 7) 地業の出の長さ 地業の幅を地中梁の幅からの出の長さとして指定して下さい。(単位nm) [図2.1 参照]
- 8) 地業の厚さ

拾コン、割栗の厚さを指定して下さい。(単位mm) [図2.1 参照]

9) 地業作図方法

拾コン、割栗部の作図方法を指定して下さい。 [図2.1 参照]

10)梁作図断面数

梁リスト図面作図時の1図面当たりの作図断面数を断面数(横方向)、 階数(縦方向)で指定します。

11)鉄筋記号

鉄筋径に応じた鉄筋記号を指定します。 鉄筋記号は点を使用しており、点のパターンとサイズからなる16の点 種から選択します。点種の設定に関しては、[3 その他]を参照して下さい。

12)作図指定

作図指定は、特定の図形の作図を行うかどうか指定するものです。 梁リストの腹筋枠:腹筋の枠を作図するかどうか指定します。 地中梁リストの地業:捨コン、割栗を作図するかどうか指定します。 壁リストの開口部補強筋斜枠:斜の枠を作図するかどうか指定します。 [図2.1 参照]

リストX寸法 リストY寸法 作図指定 x1:項目(梁) *1: 腹筋枠 y1: 符号 x2:項目(壁) y2:項目 *2: 地業 y3: 大梁断面 *3: 斜枠 x3:梁単断面 x4:梁複断面 y4: 地中梁断面 x5: 壁断面 y5: 壁断面 y6: 断面離れ 地中梁リスト 1/30 у1 符号 F G 1 y2 位置 全断面 **]** y6 大梁リスト 1/30 у1 G 1 G 2 符号 y2 y4 全断面 全断面 位置 1 F階 **_** y6 y3 RF階 y2Ľ y2E B×D 上端筋 下端筋 あばら筋 2 2 0 x 2 0 0 0 2 - D 1 6 2 - D 1 6 上端 2 - D 1 6 2 - D 1 6 2 - D 1 3 2 - D 1 3 あばら筋 腹筋 D 1 0 @ 1 0 4 - D 1 0 D10@100 -D10@100 *1 腹 8 - D 1 0 x1 x3,x4 x1 x3,x4 (a) 大梁リスト (b) 地中梁リスト



図2.1 リスト図面の条件設定

*2

*1

条件設定 リスト 床伏 軸組 平面詳細			?
作图方向 ————————————————————————————————————	_ 作図位置(図寸)		_ 図形作図指定
◎ 見上げ ○ 見下げ	通归線出寸法: 20	mm	▶ 壁名称
- 部材名称表示位置	寸法引出線離れ: 10	mm	✓ 大梁·地中梁名称
	寸法引出線長さ: 20	mm	▶ 壁梁名称
	寸法線間距離: 10	mm	☑ 小梁名称
標準壁名称	通り名称離れ: 10	mm	▶ 床名称
W18 (7文字以内)	· 通り名称径: 10	mm	☑ 大梁·地中梁
┌ 寸法表示	図面名称離れ: 20	mm	☑ 小梁
다 고 지 기 기 기			
			 OK キャンカル

1)作図図面

庄仕

1

床伏を指示します。

2) 作図方向

途中階の床伏の見上げ / 見下げを指示します。 最上階は見上げ、最下階は見下げとなります。

- 3)部材名称表示位置 壁、梁の名称の表示位置を部材中央の下とするか上とするか指定します。
- 4)標準壁名称

標準壁名称に指定した壁の名称を作図しないようにします。 全ての壁名称を作図する場合は空白として下さい。

5) 寸法表示

スパン寸法の作図する側を指定します。

6)作図位置

通り線、寸法、図面名称の作図位置を指定します。 入力する数値は図面上の数値(図寸値)であり、実寸値ではありません。 [図2.2 参照]

7) 図形作図指定

作図指定は、特定の図形の作図を行うかどうか指定するものです。 壁名称:壁名称を作図するかどうか指定します。 大梁・地中梁名称:入力梁の名称を作図するかどうか指定します。 壁梁名称:壁梁名称を作図するかどうか指定します。 小梁名称:小梁名称を作図するかどうか指定します。 床名称:床名称を作図するかどうか指定します。 大梁・地中梁:入力梁を作図するかどうか指定します。 小梁:小梁を作図するかどうか指定します。



図2.2 床伏図面の条件設定

軸組

1)—	条件設定				? ×
	リスト 床伏 軸組 平面詳細				
	- 作図方向	_ 作図位置(図寸)			
	● 見白 ● 展開	階寸法	スパン	付法	
	國形作同世史	階高線の出: 20		り線の出: 40	mm
		引出線離れ: 10		出線離れ: 10	mm
		引出線長さ : 10	0 mm 318	出線長さ : 10	mm
		図面名称離れ : 20			
				ок	キャンカル

1)作図図面

軸組を指示します。

2)作図方法

通りを見附で作図するか、展開で作図するか指定します。 平面的に変形し、斜め部分の通りに対し有効です。

3) 図形作図指定

作図指定は、特定の図形の作図を行うかどうか指定するものです。 開口印:開口部内の×印を作図するかどうか指定します。

4) 寸法表示

寸法の作図する側を指定します。

5)作図位置

通り線、寸法、図面名称の作図位置を指定します。

入力する数値は図面上の数値(図寸値)であり、実寸値ではありません。 [図2.3 参照]



階寸法	スパン寸法	下記数値は「床伏」で設定した
L1: 階高線の出	L4: 通り線の出	数値を参照します。
L2: 引出線離れ	L5: 引出線離れ	*1: 寸法線間隔
L3: 引出線長さ	L6: 引出線長さ	*2: 通り名称離れ
	17: 図面名称離れ	*3: 诵り名称径



図2.3 軸組図面の条件設定

平面詳細

1)-	· 条件設定 ?	×
	リスト 床伏 軸組 平面詳細	
	・部分詳細スケール(分母) 20	
	┌ 寸法表示	
	マト ロト マ 右 マ 左 日部分詳細	
	_ 作図位置(図寸)	
	スパン寸法 壁寸法	
	通り線の出: 20 mm 部分詳細離れ: 20 mm 引出線離れ: 2 mm	
	引出線離れ: 10 mm 部分詳細径 : 80 mm 引出線長さ:4 mm	
	引出線長さ: 20 mm 図面名称離れ: 20 mm	
	ОК ++ути	

1)作図図面

平面詳細を指示します。

- 2)部分詳細スケール(分母) 壁の端部、交差部の詳細図のスケールを指定します。
- 3)寸法表示 スパン寸法の作図する側を指定します。
- 4)作図位置

通り線、寸法、図面名称の作図位置を指定します。 入力する数値は図面上の数値(図寸値)であり、実寸値ではありません。 [図2.4 参照]

5) 図形作図指定

作図指定は、特定の図形の作図を行うかどうか指定するものです。 部分詳細:壁の端部、交差部の詳細図を作図するかどうか指定します。



図2.4 平面詳細図面の条件設定

操作

- 1)作図条件を設定する図面を指示します。 リスト/床伏/軸組/平面詳細/架構詳細をクリックして下さい。
- 2)それぞれの画面で作図条件を設定します。
- 3)全ての図面に対し設定が終了したらOKボタンをクリックして作図実行画 面に戻ります。

2 4 図面指定画面

[2.2 作図実行画面]で図面指定ボタンを指示すると図面指定画面が表示されま す。

機能

リスト / 床伏 / 軸組 / 平面詳細 / 架構詳細各々の作図図面を設定します。 設定画面は作図図面毎に分かれています。 画面

リスト

)	図面指定 ?×
	リスト 床伏 軸組 平面詳細 架構詳細
	▶ 地中梁リスト
	☑ 壁JZF
	ОК \$ #У±и

1)作図図面 リストを指示します。

2)図面指定 大梁リスト、地中梁リスト、壁リスト毎に作図図面を指定します。

床伏

1)-	図面指定	?×
	リスト床伏 軸組 平面詳細 架構詳細	
	作网階:	
	RF F	
	1F 全角印余	
	,	
	OK +(+	zil

- 1)作図図面 床伏を指示します。
- 2)図面指定 階毎に作図図面を指定します。
- 3)全選択ボタン 全階作図を選択します。
- 4)全解除全階作図を解除します。



- 各方向の全通り作図を選択します。
- 4)全解除ボタン各方向の全通り作図を解除します。

平面詳細

1) —	図面指定	? ×
	リスト 床伏 軸組 平面詳細 架構詳細	
	作図階:	

- 1)作図図面
 - 平面詳細を指定します。
- 2)作図図面
 - 階毎に作図図面を指定します。

操作

- 1)図面指定を行う図面を指示します。 リスト/床伏/軸組/平面詳細/架構詳細をクリックして下さい。
- 2)それぞれの画面で図面指定を行います。
- 3)全ての図面に対し設定が終了したらOKボタンをクリックして作図実行画 面に戻ります。

2.5 図形属性画面

[2.2 作図実行画面]で図形属性ボタンを指示すると図形属性画面が表示されます。

機能

作図する図形の色 / 線種 / 字種 (文字の大きさ)を設定します。

```
画面
```

色

1)	図形属性設定	Ē						? ×
	色線	重 字種						
	リスト枠	-	大梁	· ·	縦筋	-	幅止筋	— .
	通归線	-	地中梁	-	横筋		縦筋(M)	— .
	寸法	-	小梁	-	上下端筋	-	横筋(M)	— .
	壁	-	床	-	あばら筋	_	上下端筋(M)	— .
	開口		捨口),割栗	-	腹筋	-	腹筋(M)	— .
							※ (M) マーク	
							OK	キャンセル
								14761

1)図形属性
 色を指示します。

2) 色指定

図形毎に作図色を指定します。色は8色あります。 DXF連携及びプロッタ出力等を考慮し設定して下さい。

線種
100 TT

1)-	図形属性設定			? ×
	色線積	[] 字種]		
	通归線			
	部材			
	透部材			
	開口			
	-		1	
			ОК	1 0/2/

 2)図形属性 線種を指示します。

2)線種指定

通り線/部材/透部材/開口毎に線種を指定します。線種は5種類あります。 基本的には部材で指定した線種(通常は実線)を使用し、その他に通り線の 線種、透かし部材の線種、開口内の×印の線種を使用します。

字種

1)-	図形属性設定								? X
	色 線種	字種							
	リスト項目	-	4.0 • 3.2 • 0.0	-	壁名称	-	3.0 • 2.4 • 0.0	-	
	リスト符号	-	4.0 • 3.2 • 0.0	-	大梁名称	-	3.0 • 2.4 • 0.0	-	
	リストデータ	-	3.0 • 2.4 • 0.0	-	地中梁名称	-	3.0 • 2.4 • 0.0	-	
	図面名称	· ·	7.0 * 5.6 * 0.5	-	小梁名称	· ·	3.0 • 2.4 • 0.0	-	
	通归名称	· ·	4.0 • 3.2 • 0.0	-	床名称	· ·	3.0 • 2.4 • 0.0	-	
	階名称		3.0 • 2.4 • 0.0	-	壁記号	-	4.0 * 3.2 * 0.0	-	
	寸法		3.0 • 2.4 • 0.0	-					
							OK 1	キャンパ	
									en

1)図形属性

字種を指定します。

2) 色指定

文字毎に作図色を指定します。色は8色あります。 DXF連携及びプロッタ出力等を考慮し設定して下さい。

3)字種指定

文字毎に字種を指定します。 字種は文字の高さ/幅/間隔からなる16パターンあります。 字種の設定に関しては、[3 その他]を参照して下さい。 操作

- 1)設定する図形属性を指示します。
 色/線種/字種をクリックして下さい。
- 2)それぞれの画面で図形属性を指定します。
- 3)全ての図形属性の設定が終了したらOKボタンをクリックして作図実行画 面に戻ります。

その他

自動作図処理と関連する色、点種、字種の属性設定コマンド、及び削除・移動等の編集コマンド について説明します。

3.1 コマンドの起動方法について

コマンドを起動するにはいくつかの方法があります。

メニューより起動する。

「ファイル」「設定」「編集」の各メニューより起動します。

- 1)「ファイル」-ファイル保存、ファイルオープン
- 2)「設定」 - 色、点種、字種 [図3.1 参照]
- 「編集」 3)「編集」 - 削除 └「移動・複写」 - 移動、図面合成 [図3.2 参照]



図3.2 編集メニュー

アイコンより起動する。

各コマンドのアイコンをクリックし起動します。

字 🕮 💱 🖷	+ v 5 ++ 3	🌾 🕂 📉 🖗 🖪	包 → <mark>図</mark> L P === ** !
50 🚽 💆 🔰		1.0・0.8・0.	0 ▼ 印 🖞 O 0.5 mm
] 複 パ 🗌	色設定	字種設定	点種設定

図3.3 設定・編集コマンドのアイコン



図3.4 ファイル保存コマンドのアイコン

コマンドツールバーより起動する。

作図・編集系のコマンドは、コマンドツールバーより起動することができます。

╋ PLUS CAD ファイル 設定	作図 編集	፪ ዕረኑነን	Debug
	- ⊥ ●		<u></u>
 自動 ▼ Sa	mple		
[編集	削除	-	
線 円・円弧 図形	削除 g切断 曲缩	WIND	OW-1 A1 材
安学 移動·複写	首 月処理 切取		
編集 	- ^{21裕} - 変形		
1000 大梁リスト			

図3.5 コマンドツールバー

3.2 色設定

「PLUS CAD」が図面ウィンドゥに表示する図形の色等を設定します。

機能

色を設定する項目は、下記の通りです。

1) 1 ~ 8	: 図形を表示する色。 8色で表示し、この8色はDXF連携及びプロッタ出力時 の色(ペン)番号に対応します。
2) 補助図形	: 補助レイヤに作図した図形の色。
3) 選択図形	: 選択した図形を識別する色。
4)仮図形	: 決定前の仮表示の図形を識別する色。
5)図枠	: 図枠の色。
6)グリッド	: グリッドを表示した時の色。
7)ベクトル	: ベクトルを表示した時の色。

画面

色設定画面

色設定	×
	補助図形 選択図形 仮図形 図枠
6	グリッド
8	O K CANCEL

色の設定画面

色の設定 ?×
基本色(B):
作成した色(_):
色の作成(<u>D</u>) >>
ОК ++уен

操作

- 1) 色設定画面で設定する項目をクリックします。
- 2) 色の設定画面で設定する色をクリックします。
- 3) 色の指定がよければOKボタンをクリックします。
- 4)1)~3)を繰り返し色設定が終了したらOKボタンをクリックします。

3.3 点種設定

点図形で使用する点のパターン(点種)を設定します。

機能

点種は、点の形状のパターン(14種)とサイズの組み合わせで16パターン 設定できます。

点図形は、寸法線の端部の黒丸記号や鉄筋記号で使用しています。

画面

点種設定							×		
・点斜線長さ 1.5 倍(径に対する倍率)									
NO	<u>∧*</u> \$−2	直径	$\wedge \mathcal{D}N_0$	使用中	表示	検索			
1		0.5	1	Г					
<u> </u>		0.5	1	Г	V				
С З	X I	1.2	1	Г	V				
C 4	ğ	1.0	1	Г	☑				
С 5	õ 🗉	1.0	1	Г					
C 6	X	1.0	1	Г	V				
C 7		1.0	1	Г					
C 8	Ø•	1.0	1	Г					
Сэ	×-	1.0	1	Г					
O 10	••	1.0	1	Г	V				
C 11	Ø-	1.0	1	Г					
C 12	×	1.0	1	Г					
C 13	0 -	1.0	1	Г					
O 14	Ø-	1.0	1	Г					
C 15	<u>N</u> .	1.0	1	Г					
C 16	\otimes -	1.0	1	Г					
※ 直径	: mm 単(± [0	К	CANC	EL			

1) 点斜線長さ

斜線を伴う形状のパターンの時の斜線の長さを直径の倍率で指定します。

2)NO

╔は、点図形を作図する時の入力点種を指示します。

- 3)パターン 形状のパターンを選択します。
- 4) 直径 点のサイズを指定します。この数値
 - 点のサイズを指定します。この数値は図面上の数値であり、実寸値では ありません。
- 5)ペンNo

使用してません。

6)使用中

使用済みの点種を示します。

7)表示

画面表示する点種を指示します。表示ボタンを指示すると全表示 / 全非 表示となります。

8)検索 図形検索する点種を指示します。検索ボタンを指示すると全検索/全非 検索となります。

操作

- 1)各NOのパターンを選択します。
- 2) 各NOの直径を指定します。
- 3) O K ボタンをクリックします。
- 3.4 字種設定

文字図形で使用する文字のサイズ (字種)を設定します。

機能

字種は、文字の高さ・幅・間隔の組み合わせで16パターン設定できます。

画面

- 1)NO は、文字図形を作図する時の入力字種を指示します。
- 2)高さ 文字の高さを指定します。
- 3)幅 文字の幅を指定します。
- 4)間隔 文字と文字の間の間隔(隙間)を指定します。
- 5)ペンNo 使用してません。
- 6)使用中 使用済みの字種を示します。
- 7)表示 画面表示する字種を指示します。表示ボタンを指示すると全表示 / 全非 表示となります。
- 8)検索 図形検索する字種を指示します。検索ボタンを指示すると全検索/全非 検索となります。

字種設定								×
NO	高さ	幅	間隔	1°2No	使用中	表示	検索	
1	1.0	0.8	0.0	1				
O 2	1.5	1.2	0.0	1	Г			
С З	2.0	1.6	0.0	1				
O 4	2.5	2.0	-0.5	1				
05	3.0	2.4	0.0	1				
O 6	3.5	2.8	-0.5	1	Г			
07	4.0	3.2	0.0	1				
O 8	4.5	3.7	-0.5	1			☑	
Оэ	5.0	4.0	0.5	1				
O 10	6.0	4.8	0.5	1	Г	☑		
O 11	7.0	3.5	0.5	1				
O 12	8.0	6.4	0.5	1				
O 13	9.0	7.2	0.5	1				
O 14	10.0	8.0	1.0	1	Г	☑		
O 15	11.0	8.8	1.0	1				
O 16	12.0	9.6	1.0	1				
※ 高さ・	幅·間隔	mm 単位	± [0	к	CAN	CEL	

操作

- 1) 各NOの高さを指定します。
- 2)各NOの幅を指定します。
- 3) 各NOの間隔を指定します。
- 4) O Kボタンをクリックします。

3.5 削除

表示されている図面の図形を削除します。

機能

指示した図形を削除します。

画面



操作

- 1)削除する図形をクリックします。
 範囲選択する場合はドラッグして囲みます。
- 2) 図形選択が終わったら、[リタン]を指示し実行します。

備考

選択済の図形をもう一度クリックするとその図形を解除することができます。 また [BS]か [ESC]を指示すると全図形を解除することができます。

3.6 移動

表示されている図面の図形を移動します。

機能

指示した図形を移動します。

画面



操作

- 1)移動する図形をクリックまたはドラッグで指示します。
- 2) 図形選択が終わったら [リタン]を指示します。
- 3)移動元の基準位置をクリックします。 マウスを動かすと移動図形も一緒に動きます。
- 4)移動先でクリックします。

備考

[BS]で一つ前の処理(状態)に戻り、[ESC]で最初の処理(状態)に戻ります。

3.7 図面合成

図面ウィンドゥに表示されている図面間で図面の合成を行います。

機能

指示した図面を別図面に合成します。

画面



操作

- 1)合成元となる図面をクリックします。
- 2) 合成先となる図面をクリックします。 マウスを動かすと合成元の図面の表示も動きます。
- 3)配置位置をクリックします。 配置位置をクリックせずに [リタン]を指示すると原点を重ね合せた合成とな ります。

備考

図面を合成する時の基準位置は図面原点です。 合成元の図面の原点を合成先の図面のどこに配置するか指示します。 「PLUS CAD」の図面の原点位置は図面左上となります。

3.8 ファイル保存

作成・編集した図面をファイルに保存します。

機能

指示した図面ウィンドゥの図面をファイルに保存します。

画面

ファイル保存				? ×
保存する場所①: 🦳	cz001	-	1	
🔄 1F階床伏図dda	🗃 WCAD000.dda	🔄 🗶 🧃	刨軸組図dda	🗃 Y2 通归重
■ 1F階平面詳細図dda	🗃 WCAD001.dda	🎽 X6 j	则軸組図dda	🗃 Y3 通り車
■2F階床伏図dda	◙️X1 通り軸組図dda	🛛 🛋 🗙 7 🏾 道	•J軸組図dda	🗃 Y4 通り車
■2F階平面詳細図dda	◙╳2 通り軸組図dda	🖬 X8 🌶	•J軸組図dda	■ 大梁リスト
📓 RF 階床伏図dda	◙Ⅻ 通り軸組図dda	🗐 X9 jē	•J軸組図dda	🗃 地中梁リス
📓 RF階平面詳細図dda	🗃 X4 通り軸組図dda	🔊 Y1 道	吵軸組図dda	📓 壁断面リス
•				•
ファイル名(N):	F			保存(<u>S</u>)
ファイルの種類(1): 004	V-FILE		-	キャンセル
			-	

1)保存する場所

ファイルを作成するドライブやフォルダを指示します。

2)ファイル名

図面識別名を入力します。

「 P L U S C A D 」の図面ファイルは *.dda で識別され、 ".dda"を入 力しなくても自動的に付加されます。

操作

ファイル名を入力します。
 既存ファイルに上書き保存する場合は、ファイル表示の中からそのファイルをクリックします。

2)保存ボタンをクリックします。

備考

削除や移動、図面合成を行った図面は必ず保存します。

保存しないで「PLUD CAD」を終了させるとその図面は失われてしまいます。

また点種設定や字種設定を変更した図面も保存します。これら属性データも図 面固有のデータとして図面と一緒に保存します。

3.9 ファイルオープン

保存してある図面ファイルを読込みます。

機能

指示した図面ファイルを読込み、画面に表示します。

画面

ファイルオーフシ				? ×
ファイルの場所(!): 🔁	cz001	-	E	8-8- 8-8- 8-8-
 ■ 1F階床伏叉dda ■ 1F階平面評細図dda ■ 2F階床伏図dda ■ 2F階平面詳細図dda ■ RF階床伏図dda ■ RF階床伏図dda ■ RF階床代図dda) WCAD000.dda) WCAD001.dda) WCAD003.dda) WCAD004.dda) WCAD004.dda) X1 通り軸組図.dda) X2 通り軸組図.dda	a) X3 通 a) X4 通 a) X5 通 a) X5 通 a) X7 通 a) X7 通 a) X8 通	J車組図dda J車組図dda J車組図dda J車組図dda J車組図dda J車組図dda J車組図dda	 3 ×9 通り車 3 Y1 通り車 3 Y2 通り車 3 Y3 通り車 3 Y4 通り車 3 大梁リスト
•				►
ファイル名(N): 1F『 ファイルの種類(T): DD	皆床伏図dda A-FILE			開く(©) キャンセル

1)ファイルの場所

図面ファイルを読込むドライブやフォルダを指示します。

2)ファイル名 読込む図面ファイル名を表示します。

操作

1)ファイル表示の中から読込む図面ファイルをクリックします。

2)開くボタンをクリックします。